

第3章 ヒアリング調査実施先の選定・ヒアリング項目の詳細化

第1節 ヒアリング調査実施先の選定

表 3-2-1 においてリストアップを行った「事例調査候補（一次リスト）」をベースとしながら、研究会での検討を経て、地域や事例としてのバランス等を考慮しつつ最終的に表 3-3-1 に示す 30 組織に対してヒアリング調査を実施した³³。

これらは、表 3-2-1 の各指標で特徴を持っていることから、他大学にとって参考となる何らかの優れた知財活用例や、大学としての優れた知財活動・取り組み事例・工夫等を保有していると考えられる組織として選定された。

表 3-3-1 ヒアリング調査実施先

通し No	大学名	ヒアリング場所（区・市・郡）
1	北見工業大学	北海道北見市
2	旭川医科大学	北海道旭川市
3	酪農学園大学	北海道江別市
4	札幌医科大学	北海道札幌市
5	室蘭工業大学	北海道室蘭市
6	山形大学	山形県山形市
7	筑波大学	茨城県つくば市
8	宇都宮大学	栃木県宇都宮市
9	群馬大学	群馬県前橋市
10	東京医科歯科大学	東京都文京区
11	日本医科大学	東京都文京区
12	聖マリアンナ医科大学	神奈川県川崎市
13	金沢工業大学	石川県石川郡
14	北陸先端科学技術大学院大学	石川県能美市
15	信州大学	長野県松本市
16	岐阜大学	岐阜県岐阜市
17	浜松医科大学	静岡県浜松市
18	豊橋技術科学大学	愛知県豊橋市
19	愛知医科大学	愛知県愛知郡
20	三重大学	三重県津市
21	立命館大学	京都府京都市
22	大阪産業大学	大阪府大東市

³³ 表 3-2-1 の「事例調査候補（一次リスト）」においてリストアップされていない大学についても、地域や事例としてのバランス等を考慮しつつ、一部ヒアリング調査対象とした大学がある。

通し No	大学名	ヒアリング場所（区・市・郡）
23	奈良先端科学技術大学院大学	奈良県生駒市
24	鳥取大学	鳥取県鳥取市
25	島根大学	島根県松江市
26	山口大学	山口県山口市
27	徳島大学	徳島県徳島市
28	高知工科大学	高知県香美市
29	長崎総合科学大学	長崎県長崎市
30	熊本大学	熊本県熊本市

これらヒアリング調査対象を、第2部における類型化軸と対応付けてマッピングしたものを図 3-3-1 以降に示す。

図 3-3-1 ヒアリング調査対象（類型化別マッピング：全体像）



図 3-3-2 ヒアリング調査対象（選定した大学について（1））

学生数	大学本部所在地(市・区・郡)の人口	東京都内・政令指定都市					
		10万人未満	10万人以上	20万人以上	30万人以上	40万人以上	50万人以上
2千人以上	六千人以上	山口大学 大阪産業大学	山形大学 筑波大学 信州大学	三重大学 徳島大学			立命館大学 熊本大学
	三千人以上	鳥根大学 酪農学園大学	鳥取大学	群馬大学	岐阜大学	宇都宮大学	
	二千人以上	室蘭工業大学 金沢工業大学					
2千人未満	千五百人以上	北見工業大学					
	千人以上	高知工科大学 愛知医科大学	奈良先端科学技術大学院大学	豊橋技術科学大学		札幌医科大学 東京医科歯科大学	
	千未満	北陸先端科学技術大学院大学		旭川医科大学	長崎総合科学大学	日本医科大学 浜松医科大学 聖マリアンナ医科大学・MPO	

・比較的規模の大きな、各地域の総合大学

図 3-3-3 ヒアリング調査対象（選定した大学について（2））

学生数	大学本部所在地(市・区・郡)の人口	東京都内・政令指定都市					
		10万人未満	10万人以上	20万人以上	30万人以上	40万人以上	50万人以上
2千人以上	六千人以上	山口大学 大阪産業大学	山形大学 筑波大学 信州大学	三重大学 徳島大学			立命館大学 熊本大学
	三千人以上	鳥根大学 酪農学園大学	鳥取大学	群馬大学	岐阜大学	宇都宮大学	
	二千人以上	室蘭工業大学 金沢工業大学					
2千人未満	千五百人以上	北見工業大学					
	千人以上	高知工科大学 愛知医科大学	奈良先端科学技術大学院大学	豊橋技術科学大学		札幌医科大学 東京医科歯科大学	
	千未満	北陸先端科学技術大学院大学		旭川医科大学	長崎総合科学大学	日本医科大学 浜松医科大学 聖マリアンナ医科大学・MPO	

・比較的規模の大きな、各地域毎の特色をもった大学

本編

第1部

第2部

第3部

第4部

図 3-3-4 ヒアリング調査対象（選定した大学について（3））

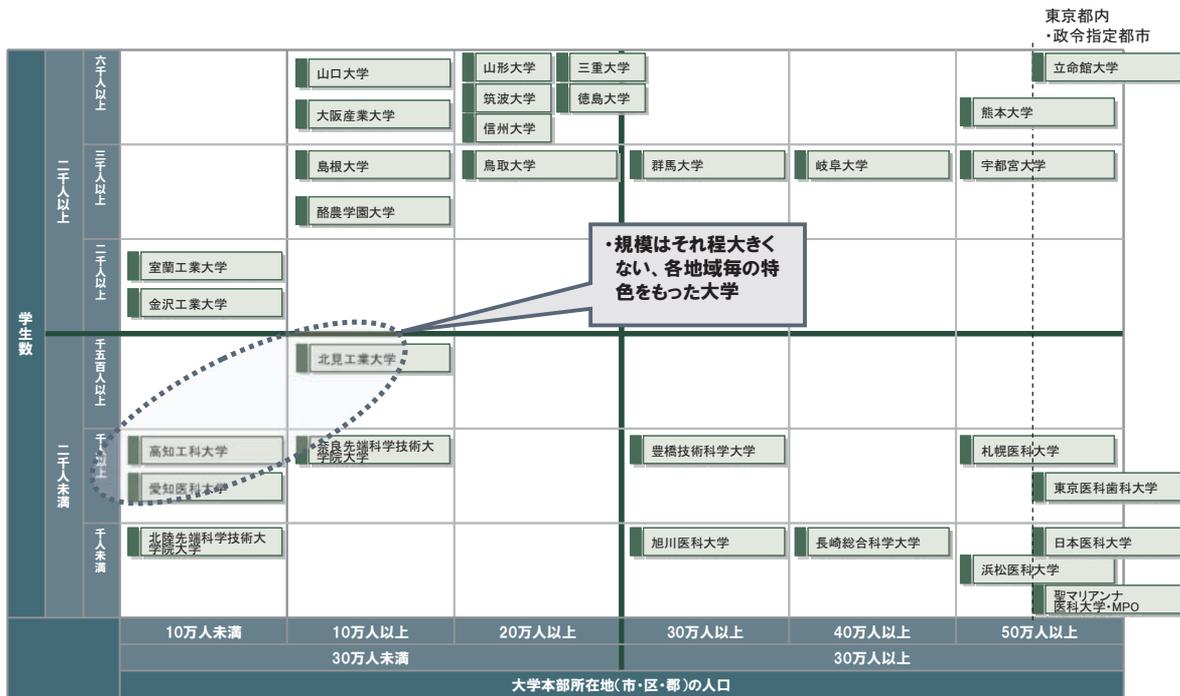


図 3-3-5 ヒアリング調査対象（選定した大学について（4））

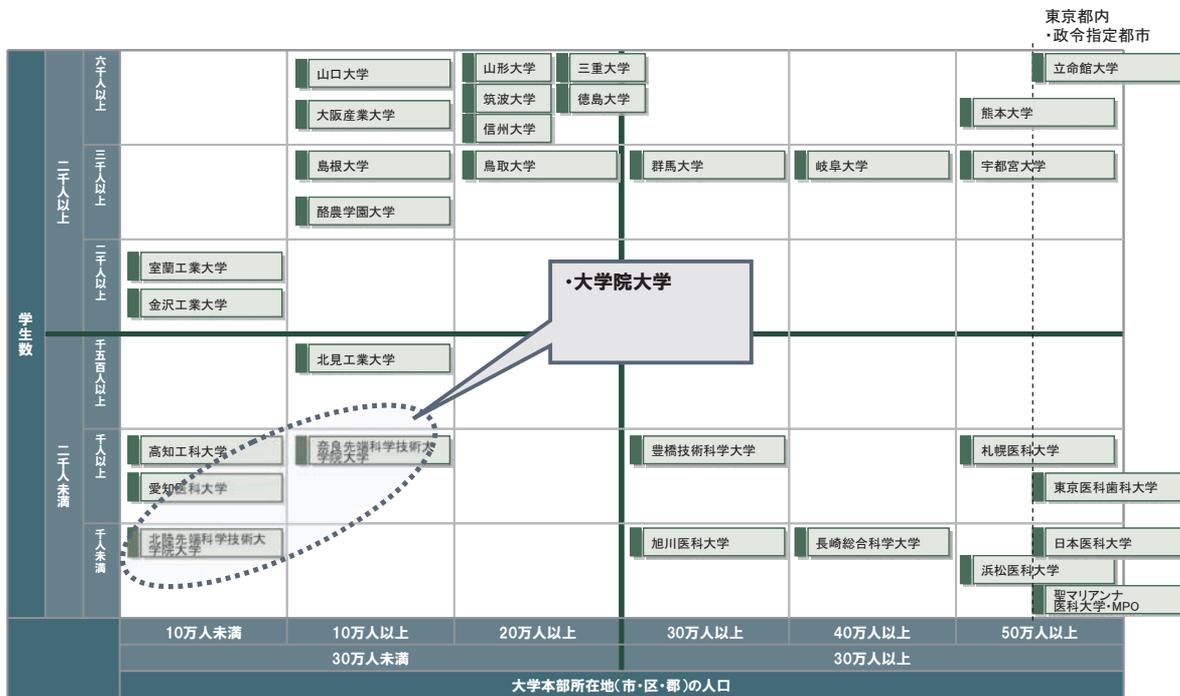
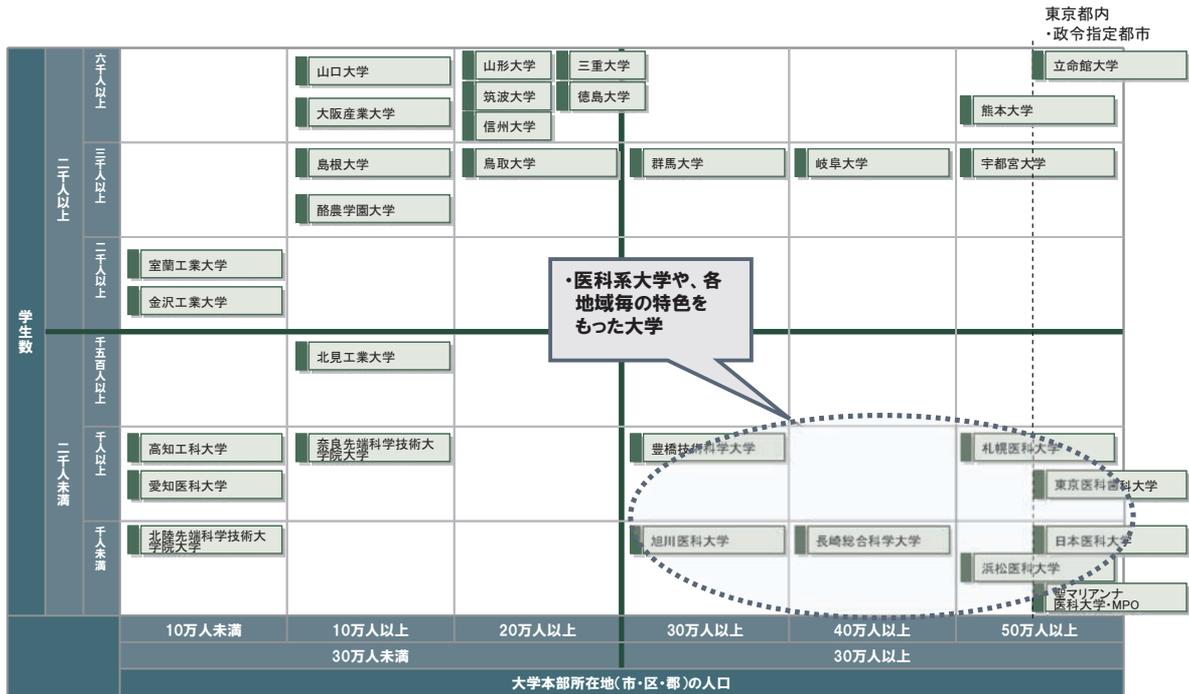


図 3-3-6 ヒアリング調査対象（選定した大学について（5））



本編

第1部

第2部

第3部

第4部

第2節 ヒアリング項目の詳細化

優れた知財活用例（大学としての優れた知財活動・取り組み事例）を把握するため、本研究では、表 3-3-2 に示すヒアリング項目を設定し、各大学等に対してヒアリング調査を実施した。

表 3-3-2 ヒアリング項目

No	ヒアリング項目
(1)	活用した知財の内容
	・ 貴大学における知財の創出・活用状況
	・ (特徴的な事例がある場合) 権利を取得した技術・研究の概要
(2)	知財の創出から保護・活用までの経緯
	・ 貴大学における知財管理体制や、取り組み上の工夫
	・ 知財の創出段階 (出願判断、研究推進体制、地域との関わり方等)
	・ 知財による保護・活用段階 (外部リソース活用状況、技術移転検討手順等)
(3)	知財活用による成果が与えた影響・効果
	・ 知財活用による研究への影響 (研究活動の連鎖、研究者の意識向上等)
	・ 大学や地域への影響
(4)	その他
	・ 効果的な知財教育・啓発活動 (カリキュラム設定、学内セミナー等)
	・ 知財に係る失敗事例・留意事例
	・ 他大学にとって参考となる取り組みや、現状抱えている課題、等